

令和6年度 第3回防災委員長会議 次第

日 時 令和7年1月9日(木)18時30分～
会 場 消防防災センター（4階多目的ホール）
対 象 防災委員長

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- （1）令和6年度 焼津市地域防災訓練等結果報告等について
- （2）令和6年度 焼津市水難救助訓練について（令和7年3月1日）
- （3）令和6年度 焼津市災害時初動訓練について（令和7年3月2日）

4 連絡事項

- （1）自主防災会内の役員交代について
- （2）令和6年度 自主防組織育成事業補助金について
- （3）その他

5 質疑応答

6 閉 会

令和6年度 防災委員長会議（第3回）

配布物一覧

	内 容	資料番号	提出期限
議題（１）	令和6年度 焼津市地域防災訓練結果報告等について	資料 1	
議題（２）	令和6年度 焼津市水難救助訓練（令和7年3月1日）	資料 2	
	・見学者数等報告書		1/31(水)まで
議題（３）	令和6年度 焼津市災害時初動訓練について(令和7年3月2日)	資料 3	
	・令和6年度 焼津市災害時初動訓練の実施について（依頼）		
	・令和6年度 焼津市自主防災組織活動指針		
	・令和6年度 焼津市災害時初動訓練 実施計画		
	・令和6年度 焼津市災害時初動訓練スケジュール		
	・同報無線放送スケジュール（案）		
	・災害時情報記録用紙（参加者）：自主防災会本部用	資料 3-1	
	・「わが家の安否確認カード」集計用紙 【任意様式】 （組長・町内会長・基地用）	資料 3-2	
	・令和6年度 焼津市災害時初動訓練 実施計画書	資料 3-3	2/3（月）まで
	・防災資機材借用要望書	資料 3-4	2/3（月）まで
	・令和6年度 焼津市災害時初動訓練 結果報告書	資料 3-5	3/10(月)まで
	・チラシ要望書	資料 3-6	1/16(木)まで
	A：【訓練用】「わが家の安否確認カード」	チラシA	
	B：訓練参加証明書（児童・生徒用）	チラシB	
	C：同報無線が聞こえないときどうするの？ ～多様な情報収集～	チラシC	
	D：災害時は安否確認が重要です!! ～大切な人との再会のために～	チラシD	
	E：もしもの備えが命を守る！（表免） 災害時のトイレ問題は深刻です！（裏面）	チラシE	
連絡事項（１）	自主防災会内の役員交代について	資料 4	
	・令和7年度役員連絡報告書		3/21(金)まで
連絡事項（２）	令和6年度自主防災組織育成事業補助金について	資料 5	3/5(水)まで

令和 6 年度 焼津市地域防災訓練実施結果について

防災部 地域防災課

1. 目的 地震発生を想定し、市民は自身の身を守るための行動並びに避難行動を身につけることを目的とし、自主防災会は、安否確認、情報伝達並びに避難所開設の対応力向上を目的とする。

2. 実施機関 市内 76 自主防災会

3. 参加人員 70,897 人 (R4 年度 53,992 人 R5 年度中止)

【参考 児童・生徒参加者数】

小学生：3,649 人 (R4 年度 4,242 人)

中学生：2,175 人 (R4 年度 2,148 人)

高校生：2,169 人 (R4 年度 1,445 人)

4. 内 容

(1) 情報伝達訓練

(2) 「令和 6 年度 焼津市地域防災訓練実施計画」に基づく各自主防災会の訓練

【内容】

家庭内 事前対策	持出品 確認	資機材 点検	資機材 取り扱い	AED	応急	搬送	初期 消火	テント 設営	炊出	避難所開 設・立ち上 げ等
2	9	16	15	9	6	6	28	7	25	2
2.7%	12.0%	21.3%	20.0%	12.0%	8.0%	8.0%	37.3%	9.3%	33.3%	2.7%

(3) 訓練支援チームの派遣

【内容】

支援チーム	実施機関	体制	派遣先	実施内容（概要）
地震体験車	地域防災課	1 隊	3 箇所	地震体験を通した防災啓発
給水体験	上下水道部	1 隊	1 箇所	給水車による応急給水体験
出前講座	介護福祉課・ ふるさと納税課	1 隊	2 箇所	能登半島地震災害派遣職員による避難所 運営について講話
	建築指導課	1 隊	1 箇所	住宅耐震化等の啓発、補助制度案内
	消防団女性消防隊	1 隊	1 箇所	・新聞紙で防災スリッパを作成 ・身の回りの物で出来る応急手当の指導等

5. 意見・課題等

(1) 訓練全体

- ・ 回覧板で訓練スケジュールを伝えていたが、内容が十分に伝わっておらず、早く避難を始める人がいた。回覧板だけでなく、口頭連絡や掲示板、SNS など多様な手段を活用して訓練情報を正確に伝える必要がある
- ・ 一部の参加者が避難場所（一時避難場所）と安否確認場所を正しく認識しておらず、混乱が生じた。
- ・ 同報無線が聞こえにくい。
- ・ 参加者が多かったため避難場所に入りきらなかった。
- ・ 参加者は増加も、見学者が多い。
- ・ 訓練のマンネリ化。参加者の中に危機感の薄れを感じる。
- ・ 住民に対して服装、持出袋の啓発が必要。
- ・ 訓練に参加せず安否確認が取れない団地、マンション、アパート世帯がある
- ・ 避難所の開設・運営訓練では複数の自治会が関わるため、市の主導で防災委員間の顔合わせや現地でのイメージ訓練を実施して欲しい。
- ・ 参加者全体からのフィードバックを増やす必要がある
- ・ 各組単位で避難場所と避難経路の再確認を行い、倒壊の恐れのある場所の認識を深め、地域の地形や災害リスクを踏まえた訓練内容への見直し。
- ・ 自主防災救助隊と自主防災隊員との連携を強化する。
- ・ 住民の年齢区分に応じた関心の高い訓練内容を検討するために、各自主防災会へ要支援者数や年齢別人数を情報提供して欲しい。

(2) 安否確認について

- ・ 安否確認カードが定着してきており、持参、集計、報告がスムーズにできた。
- ・ 安否確認カードに各区ごと色をつけて(○区：ピンク△区：緑)集計しやすくした。
- ・ 無線活動で全域をカバーし、集計も迅速に行えた。
- ・ 安否確認の主計者の場所がわかりにくい。(組長などが目立つようにする方法が必要。)
- ・ 高齢者のみの家庭では、避難所まで歩いて行くことができない場合、誰かがわが家の安否確認カードを取りに行くのか事前に確認をしておく必要がある
- ・ 訓練に参加せず安否確認が取れない団地やアパート世帯がある。
- ・ 避難した人数を記入していると思われるものが時々ある。参加人数集計では安否確認者には自主防災会役員も含まれるので、合計に含める必要はないのでは？。
- ・ 町内会長・組長が今期初めてで、カード集計に不慣れであった。世帯数と世帯総人数を混同して報告する組長がいた。町内会長・組長への教育と共に集計表の見直しが必要。
- ・ カードには個人情報に記載されており、処理が課題である。次年度からは基地で全て回収し、町内会長がシュレッダー処理することにした。
- ・ 身体的に行動が難しい方の安否確認方法を検討する必要がある。
- ・ 実際に災害が発生した場合、訓練での安否確認方法ではスムーズに出来ないと思われる。(避難前、事前に安否確認カードに記入出来るとは思えない)。

例 1：安否確認場所に記入用紙がありその場で記入してもらう。

例 2：または、安否確認場所にチェック表がありレ点を入れてもらう。

例 3：一近所にて数家族で避難してから例 1 や例 2 の安否確認をする。

上記のように安否確認方法を改善する必要がある。

- ・ 安否確認カードに訓練不参加者を「安否確認できた人」に入れなかった世帯があり、自治会長への報告時に「家族世帯総人数」と「安否確認できた人」の数が合わないと苦情があった。災害時に幾通りも解釈できる様式だと、人員の掌握が難しくなる。

- ・家族が全員不在の場合の把握する方法
- ・安否確認カードの訓練用は何枚あっても利用できる。訓練のたびに配布するくらいが丁度よい。いざとなったとき、これまでの訓練用のものでも、あるいは過去のものでもよいと思う。不在者と不明者の違い、避難場所と避難地の違いをよく理解していない。何かしらの形で、明確に文書を出したほうが良い。「わが家は安全カード」「わが家は安全旗」の確認数も報告させた。とても大切な事だと思う。このことを忘れていた組長さんがいたが、発災した際は大きな仕事となる。

(3) 役員について

- ・役員の任期が1～2年で終わるため、継続的な防災訓練が難しい。
- ・役員が急病となり避難所訓練を中止した。訓練は繰り返しの内容であり、中止すべきではなかった。指導者不在でも訓練を遂行できるシステムの計画が必要である。
- ・役員なのか一般の避難住民なのか区別がつけにくかった。各役員の役割を明記した腕章などで誰が何を担当しているかを誰が見ても分かるように明確化を図りたい。
- ・担当役員の一部が定刻より早く集まり始めてしまった。
- ・防災委員の能動的な活動が弱く、自主性や積極性が乏しかった。
- ・各訓練班にリーダーを決める必要がある。次回は明確化を図り、リーダーを中心として作業の効率化を図る。

(4) 資機材について

- ・各町内会で保有する資機材の説明や防災倉庫内の資機材の見学を行った。
- ・防災用資機材の状態を確認しておくことが必要。点検の必要性を強く感じた。
- ・購入資機材が使用できない状態であり、修理や廃棄の判断を検討中。
- ・昨年の中止、その前のコロナ禍で活動がなかったため、資機材の組立がスムーズにできず手間取った。
- ・メインの可搬ポンプが不調で、予備のポンプを使用して放水した。日ごろの点検で放水まで確認する必要がある
- ・操作方法や組み立てについて、地域住民ができるように別紙説明書を作成して資機材につけるようにする。

(5) 炊き出し・アルファ化米

- ・アルファ化米の作り方を知る人が減少しており、次世代に伝える必要がある。
- ・アルファ化米は1箱50食とあるが、1食分の量が多すぎるとの意見があり、パックを追加して70パックにした(試食用)。
- ・炊き出し(50食×2箱)を用意してパック詰めし、100食以上のおむすびを作成した。
- ・アルファ化米の調理及び配布をおこなったが、思いのほか時間がかかった。8.5Lのお湯を4回沸かす(200人分)のに時間がかかり、パック詰めするのにも、人数が相当必要であることが解って良い経験が出来た。担当者以外にも、多数の方に経験してもらうことが必要。
- ・アルファ化米の炊き出し訓練において衛生管理の確認が不十分だった。

(6) 配布物について

- ・住民への配布物が多く、年1～2回程度の冊子にまとめられないか提案。
- ・訓練前に配布される資料もほとんど同じの為、毎回は必要ないという意見もある。
- ・防災委員長一人での仕分け作業は負担が大きく、行政側でのサポートが望ましい。
- ・防災課からの各資料を訓練で配布し、参加者を前にして確認を行った。

(7) 高齢者者

- ・地域住民の高齢化が進行しており、避難場所への移動が困難な人が多数いる。
- ・高齢化により全員の参加が難しい時代になっている。情報の伝達方法を組長会議以外でも考慮する必要がある。
- ・高齢者のみの家庭では、避難所まで歩いて行くことが困難な場合、安否確認カードを誰が取りに行くか事前に確認する必要がある。
- ・高齢者が多い組では参加自体が困難であり、自宅での避難方法を学ぶしかない。民生委員との連携も必要。
- ・訓練では、住民が一堂に会して顔を合わせることで、地域のつながりを深めることができた。

(8) 小学生・中学生

- ・年3回の訓練が多いか疑問である。小中学校では年間10回程度の防災訓練を実施しており、消防署や防災課からの出前講座で体験訓練も行われている。訓練で小中学生は頭部を保護し、無言で一時避難場所へ移動し点呼を受ける。小中学生の方が大人に比べ防災意識があり温度差があるように思える。
- ・小学生は興味本位で訓練に多く参加しているが、大人は見ているだけのことが多い。
- ・学生の参加証明書の発行枚数が、参加人数に対して半数以下だった。中には親が取りに来るケースもあった。
- ・積極的に体験訓練を実施、中学生の参加意欲は立派であった。
- ・中学生が事前に準備をし、中学生が大人の住民を指導するといった形で訓練を行った。訓練を受けた大人の評価もよく、担当した中学生も自信をつけた様であった。今後とも継続していきたい。
- ・炊き出しや資機材訓練のために中学生ボランティアを募ったが、予想以上に集まらなかった。

(9) 外国人

- ・回覧板を読んで情報を共有したり隣の家に戻したりする習慣がないらしく、連絡事項については団地の中での定例会や掲示板の貼紙などを通じて行っているが、どこまで理解が進んでいるのかは判然としない。
- ・同報無線による訓練放送を聞いて日本語がまだほとんど理解できていない外国人が、何が起こったのか理解できず、慌てていた人がいた。同報無線で訓練放送を流す際、英語での放送を加える検討をして欲しい。
- ・外国人へもっと呼びかけが必要である。

大富小学校避難所開設・運営訓練実施結果について

防災部 地域防災課

1. 概 要 これまでも継続して避難所訓練に取り組んでいる、大富第 18 自主防災会へ依頼し、避難所開設・運営の実践的な訓練が市内各地域へ広がることを目的にモデル地区訓練を行った。
2. 日 程 令和 6 年 10 月 6 日（日）午前 9 時～午前 11 時 30 分
3. 場 所 大富小学校体育館（焼津市中根新田 637）
4. 訓練内容 （1）避難所運営班の立上げ訓練
（2）炊き出し訓練
（3）段ボールベット、簡易トイレの組み立て、トイレコーナーの設置
（4）ペットコーナーの設置
5. 参加人数 （1）大富第 18 自主防災会 50 名
（2）視察者（焼津市各地域の自主防災会役員）61 名
（3）大富小学校教頭 1 名
（4）焼津市職員 28 名
（5）中部保健所職員 4 名
（6）聴覚障がい者、関係者 7 名

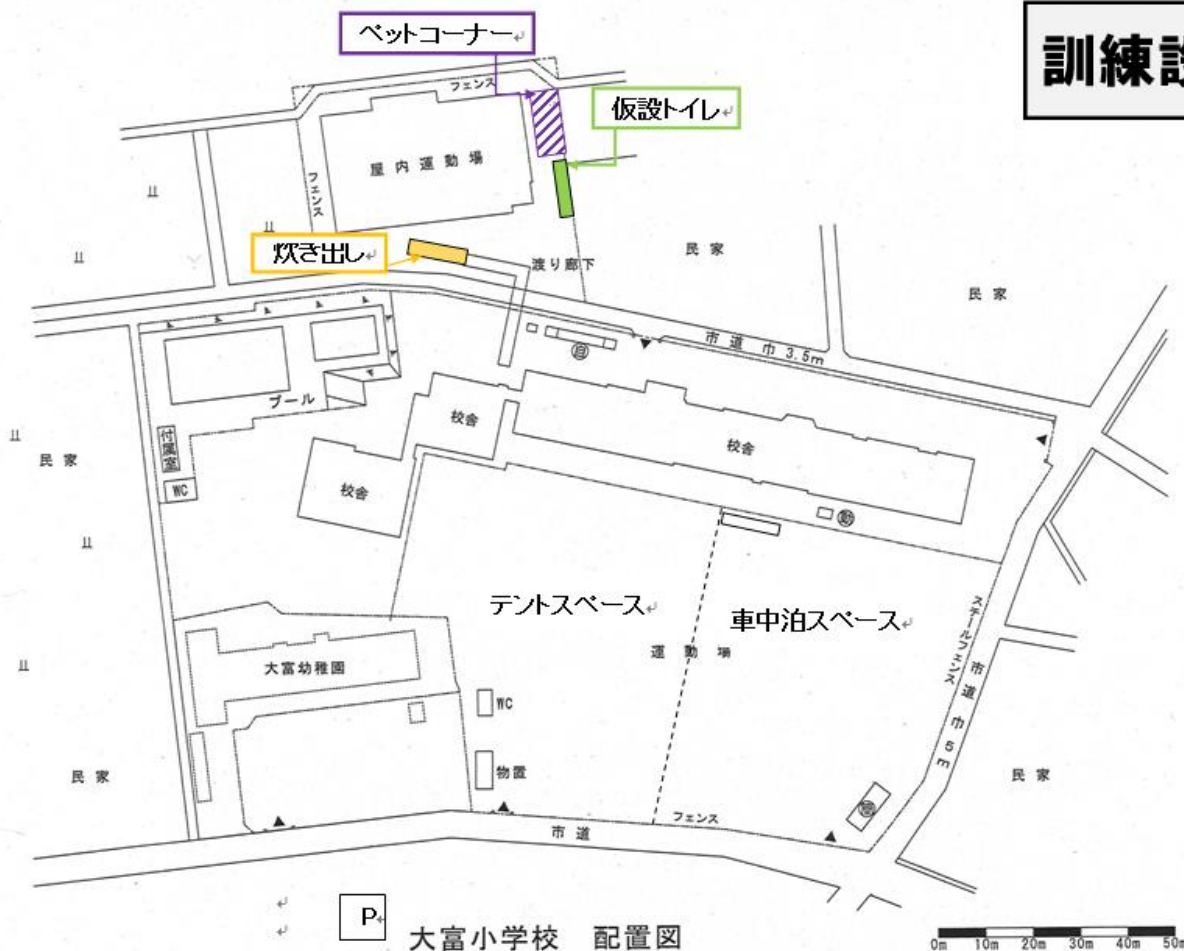
計 151 名

6. 避難所立上げ組織図

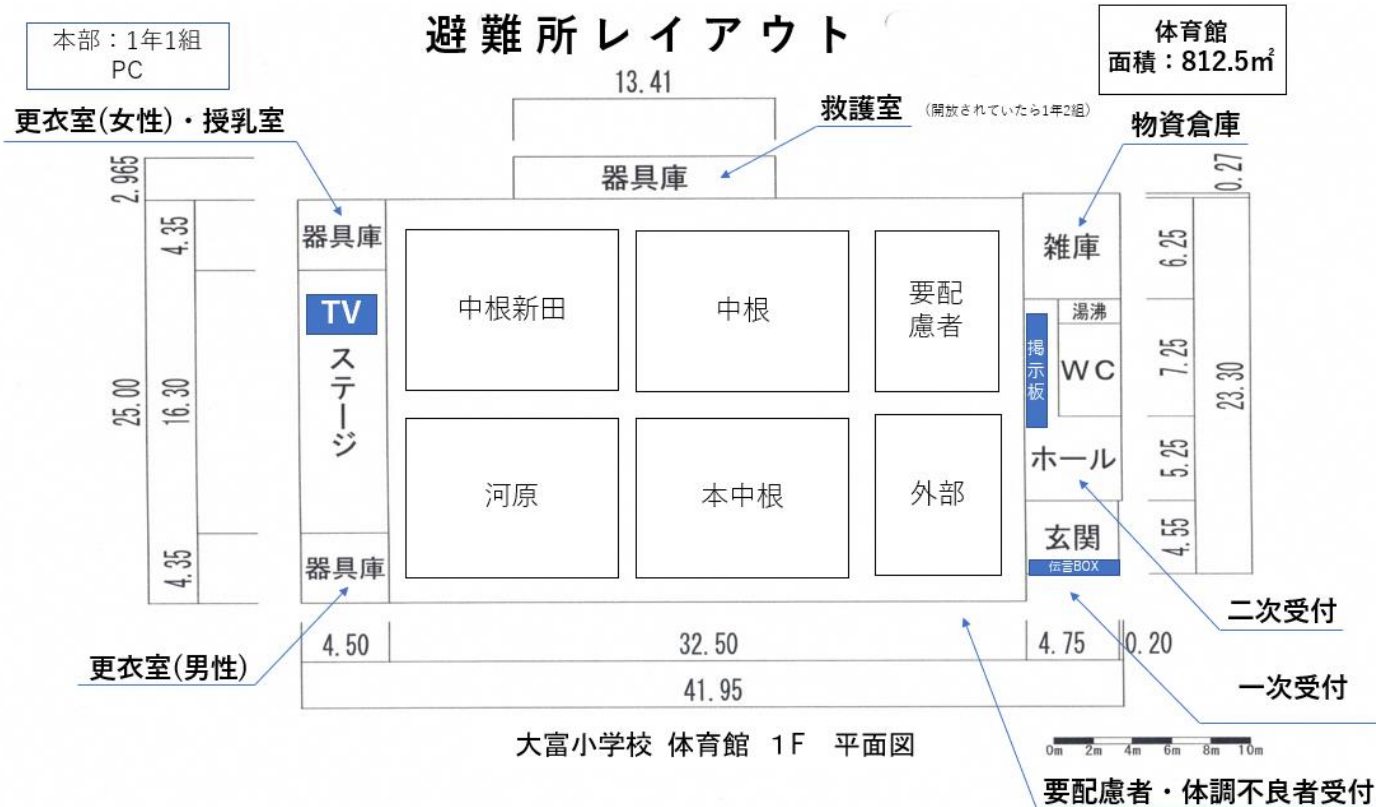
自主防災会本部長	自治会長
避難所立上本部長	防災副委員長

	班統括	班 長	班 員				役 割
	（自主防本部員）	（避難所本部員）					
総務・被災者情報班	女性部長	防災委員長	本中根	河原	中根新田	中根	第2受付 入所者名簿の作成、掲示板の作成
施設管理班	本中根地区長	避難所立上責任者	本中根	河原	中根新田	中根	居住区の区割り、避難所のレイアウト 張り紙の掲示（更衣室、救護室、物資倉庫等）
食料・物資班	河原地区長	避難所立上責任者	本中根	河原	中根新田	中根	炊き出し
保健・衛生班	中根新田地区長	避難所立上責任者	本中根	河原	中根新田	中根	第1受付 簡易トイレの設置、ペットコーナーの設置
要配慮者・ボランティア班	中根地区長	避難所立上責任者	本中根	河原	中根新田	中根	要配慮者避難者の受け入れ （移動支援、救護室搬送等）

訓練設営



避難所レイアウト



大富小学校避難所開設・運営訓練時の様子

開会式(市長挨拶)



簡易トイレの設置



ペットコーナー
(ケージの間に仕切りを入れている)



中部保健所職員と保健・衛生班、
避難者(ペットの飼い主)で設営



テント、段ボールベッド、
間仕切りの作成



閉会式



資料 2

焼 18- 号
令和 7 年 1 月 9 日

自主防災会長 各位

焼 津 市 防 災 部
部長 石川 雅章

「水難救助訓練」のご視察及び、駐車許可証の配布について（ご案内）

平素より当市の防災行政につきましては、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 6 年度焼津市水難救助訓練を下記のとおり実施いたします。視察を希望される自主防災会は別紙様式に見学者数及び駐車許可証利用枚数をご記入の上、下記期日までにご報告くださいますようお願いいたします。

記

- 1 訓練日時 令和 7 年 3 月 1 日（土）午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分
- 2 訓練会場 大井川港公共北岸壁等 ※別紙「訓練本部配置図」参照
- 3 送付書類 (1) 本案内
(2) 見学者数等報告書
(3) 令和 6 年度焼津市水難救助訓練概要
(4) 訓練イメージ図
(5) 訓練会場配置図
- 4 報告期限 令和 7 年 1 月 31 日（金）
- 5 報告方法 別紙様式に記入のうえ、直接お持ちいただくか、下記問合先へ郵送、FAX、メール又はお電話にて報告してください。
- 6 留意事項 (1) 本案内は動員の依頼ではありません。希望する自主防災会のみご報告願います。（希望しない場合は報告不要です。）
(2) 集計が完了しましたら、各自主防災会長様あてに駐車許可証を発送させていただきます。
(3) 駐車許可証は 1 自主防災会あたり 3 枚までとさせていただきます。
(4) 駐車許可証は四輪自動車を対象としております。徒歩・自転車・自動二輪などでお越しいただく場合は、様式の備考欄にその旨ご記入願います。
(5) 気象状況により中止となる場合があります。中止する場合は、「見学者数等報告書」に記載された代表者様にご連絡いたします。

《問合先》

焼津市 防災部 地域防災課 山下・鈴木
〒425-0041 焼津市石津 1-6-1（焼津市消防防災センター2 階）
T E L : 623-2554 / F A X : 625-0132
メール : tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

地域防災課 FAX : 625-0132 【提出期限 1/31】
令和 6 年度 焼津市水難救助訓練 見学者数等報告書

自主防災会

代表者 役職

連絡先

視察者氏名	地区	役職
備考欄		

車両台数（駐車許可証必要数）	台（枚）
----------------	------

《記入例》

焼津第〇 自主防災会

代表者 〇〇〇〇 役職 自主防災会長

連絡先 623-2554

視察者氏名	地区	役職
〇〇	焼津第〇自主防災会	自主防災会長
〇〇	同上	防災委員長
〇〇	同上	自主防救助隊長
〇〇	同上	町内会長
〇〇	同上	防災担当
備考欄		
〇〇は自動二輪車で行く予定。		

車両台数（駐車許可証必要枚数）	2 台（枚）
-----------------	--------

令和 6 年度 焼津市水難救助訓練 概要（案）

～大井川港開港 60 周年記念事業～

- 1 実施日時 令和 7 年 3 月 1 日（土）9 時 30 分から 11 時 00 分
- 2 実施場所 大井川港（港内水域、岸壁、野積場）、大井川港管理事務所庁舎屋上
津波避難タワー（ポートサイド飯淵タワー）
- 3 参加機関 焼津市、焼津市消防団、志太消防本部、清水海上保安部
静岡県消防防災航空隊、静岡県警察航空隊
- 4 訓練内容
 - 訓練① 9 時 30 分 無人航空機による情報収集活動
担当：焼津市消防団ドローン隊（SKY SHOOT）
 - 訓練② 9 時 35 分 無人航空機による海面の要救助者への浮環投下
担当：焼津市防災航空隊（BLUE SEAGULLS）
 - 訓練③ 9 時 45 分 水上バイクによる海面の要救助者の救出
担当：志太消防本部
 - 訓練④ 9 時 55 分 静岡県防災ヘリコプター及び静岡県警察ヘリコプターによる救出
 - ・津波救命艇からの救出
 - ・大井川港管理事務所庁舎屋上からの救出
 - ・津波避難タワーからの救出担当：静岡県消防防災航空隊、静岡県警察航空隊
※2 機とも 2 つの想定を実施する。
 - 訓練⑤ 10 時 40 分 清水海上保安部所属船による救出
 - ・津波救命艇からの救出担当：清水海上保安部
- 5 中止基準
 - （1）南海トラフ地震臨時情報が発表された場合
 - （2）市内に震度 4 以上の地震及び県内に震度 5 弱以上の地震が発生した場合
 - （3）東南海、南海地域に大規模な地震が発生した場合
 - （4）津波注意報、気象警報（大雨、洪水、暴風、高潮）が発表された場合
 - （5）雷注意報の発表かつ雷鳴など落雷兆候がみられた場合
 - （6）市民の健康及び財産の被害が予想されると判断される場合
 - （7）その他社会的に中止が必要と判断される場合※中止が妥当と判断した場合は、訓練当日の午前 7 時 00 分までに中止を判断する。
- 6 その他
 - （1）海面の要救助者は志太消防本部職員、静岡県警察ヘリコプターが救出する要救助者は警察職員、静岡県防災ヘリコプターが救出する要救助者は焼津市職員が担当する。
 - （2）会場に訓練本部を設置し、無人航空機で撮影した映像をモニターに映す。
 - （3）訓練参加機関、自主防災会及び静岡県中部地域局の代表者に訓練の視察を案内する。

令和6年度 焼津市水難救助訓練 訓練イメージ図



避難場所

津波避難タワー
公共北野積場1号
9,281㎡

飯 淵

公共北荷捌地2号
8,873㎡

駐車場

WC

見学者

訓練本部

上屋

飛行場外
離着陸場

公共北岸壁1号 (-5.5) ; 公共北岸壁2号 (-5.5)

公共北岸壁3号 (-7.5)

公共北岸壁4号 (-7.5)

公共東荷捌地1号
7,944㎡
3.2

訓練本部配置図

《資料写真》過去の焼津市水難救助訓練の様子

無人航空機による情報収集、浮環投下



水上バイクによる救助



ヘリコプターによる救出



巡視艇による救助



訓練本部の様子



自主防災会長 各位
(防災委員長)

焼津市長 中野 弘道
(防災部地域防災課)

令和 6 年度 焼津市 災害時初動訓練の実施について（依頼）

平素より当市の 防災行政 につきましては、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当市では、各家庭における自助の推進や自主防災会による地域防災体制の強化を目的として、「令和 6 年度 焼津市自主防災組織活動指針」を年度当初に掲げ「令和 6 年度焼津市災害時初動訓練実施計画」を定めました。

つきましては、訓練の実施をお願いするとともに、訓練内容の把握や検証のため 下記によりご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

記

1 日 時 令和 7 年 3 月 2 日（日）午前 9 時 00 分 から午前 11 時 30 分

2 場 所 市内全域

3 依頼内容

○ 避難訓練

「わが家の安否確認カード」を使用した避難及び集計の訓練をお願いします。

○ 焼津市災害対策本部との情報伝達 ・ 収集訓練

情報伝達・収集を目的に派遣する自主防協各班員 を通じて、避難者（参加者）等の報告をお願いします。

I. わが家の安否確認カード記載数

II. 自主防災会活動内容（訓練内容）

○ 地域に即した実動訓練

地域の課題に取り組む訓練や、地域防災訓練時の課題に対応した訓練など 1 年間の振り返りとなる訓練をお願いします。

※令和 7 年度の新防災役員が決まっている場合は引き継ぎも兼ねて 訓練に参加していただくことを推奨します。

4 実施計画書及び結果報告書の提出について

I. 焼津市災害時初動訓練 実施計画書 令和 7 年 2 月 3 日(月)まで

II. 焼津市災害時初動訓練 結果報告書 令和 7 年 3 月 10 日(月)まで

5 そ の 他

・多くの児童・生徒 訓練の参加を得られるよう、「令和 6 年度焼津市災害時初動訓練 参加証明書」の配布も併せてお願いいたします。

・訓練実施計画中止決定の基準に基づき、訓練を中止とさせていただく場合もありますので、予めご了承ください。

問合先：防災部地域防災課 島田・鈴木
電話：623—2554 Fax：625—0132
Mail：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和6年度 焼津市自主防災組織活動指針

『おうちの中に安心を増やそう大作戦』

○能登半島地震により、防災への関心が高まっている中、今一度、家庭内の備蓄の強化を中心に、再点検を行いましょう。

○発災後の『在宅避難』生活に備えて、各家庭の特徴や事情に応じた備えを行いましょう。

訓練スケジュール

防災委員長会議 令和6年5月23日（木）18：30～

総合防災訓練

夏・夜「夜間危険度再チェック訓練」

R6
8/31
(土)
19:00
～20:30

- 夜間における発災を想定し、避難経路と危険箇所の確認・安否確認を中心とした訓練を展開する。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した安否確認活動をお願いします。
- 家庭内対策の強化を中心に、再点検を行いましょう。

9/26(木) 平日・昼 シェイクアウト訓練 ※事業所中心の訓練です。
可能な限りご協力お願いいたします。

9/下旬 避難所 開設・運営訓練 ※モデル地区の訓練を検討しています（自主防災
会役員が対象です）。

防災委員長会議 令和6年10月3日（木）18：30～

地域防災訓練

冬・休日「地域で助け合い！共助訓練」

R6
12/1
(日)
午前

- 炊き出しや資機材を使った訓練など、地域での助け合い活動を重点的にお願いします。
- 市は訓練支援隊を編制し、地域の訓練を支援します。
- 「わが家の安否確認カード」を活用した安否確認活動をお願いします。
- 家庭内対策の強化を中心に、再点検を行いましょう。

防災委員長会議 令和7年1月9日（木）18：30～

災害時初動訓練

春・津波対策「発災直後の行動確認訓練」

R7
3/2
(日)
午前

- 沿岸部を中心に津波避難行動を実施。沿岸部は津波避難行動、その他の地区は発災直後の初動対応のチェック
- 新年度役員の皆様にも訓練の企画参加を呼びかけると幸いです。
- 令和6年10月の「避難所開設・運営訓練」を参考に、各地区で避難所の運営訓練をお願いします。（市も可能な限り協力しますので事前にご相談ください。）
- 家庭内対策の強化を中心に、再点検を行いましょう。

令和6年度 焼津市災害時初動訓練 実施計画

焼津市 防災部 地域防災課

1 目 的

地震発生後、市民は自身の安全確保行動並びに避難行動を身につけることを目的とし、自主防災会は1年間の課題探究・振り返りを行うことを目的として令和7年度の新防災役員と共に、訓練を実施する。沿岸部においては、津波避難行動を実施することとする。

また、備蓄や家具固定など各家庭内対策の強化を促す。

2 実施対象地域

市内全域

【津波避難訓練対象地域：31 自主防災会】

焼津地区

- ・焼津第1, 2, 3, 4, 5, 6 自主防災会
- ・小川第11, 12, 13 自主防災会
- ・東益津第15, 16, 17 自主防災会
- ・港第14, 23 自主防災会
- ・和田第21, 22 自主防災会

大井川地区

- ・飯淵第2, 3 自主防災会
- ・利右衛門第1, 2, 3 自主防災会
- ・吉永第1, 2 自主防災会
- ・高新田第1, 2, 3, 4 自主防災会
- ・藤守第2, 3, 4 自主防災会
- ・下小杉自主防災会

3 日 時

令和7年3月2日（日）9時00分から11時30分

※ 訓練開始前（8時00分）に同報無線による事前広報放送を行う。

※ 訓練開始時（9時00分）に同報無線による地震発生合図の放送を行う。

※ 訓練終了時（11時30分）に同報無線による訓練終了の放送を行う。

4 想 定

大規模な地震が発生し、市内全域で震度6強以上を観測した。

太平洋沿岸部に大津波警報が発表された後に、焼津市で1mの津波を観測し、地震の影響による小規模ながけ崩れなども発生した。また、ライフライン（電気・ガス・水道・電話）が寸断した。

5 訓練内容

《市民》

- ① 同報無線による地震発生の場合を受け、自身の安全を確保する。（シェイクアウト訓練）
- ② 安全を確保後、各家庭で実災害を想定した避難行動を行う。
 - ・非常持出品及び携行品、「わが家の安否確認カード」を持参する。
 - ・ヘルメットや軍手など安全装備を着装する。
 - ・ペット同行避難を行うときは、必ずキャリングケースやケージに入れて避難する。（ペットが逃げたり、ペット同士のケンカや他の人を噛んだりするトラブルを防ぐため）
- ③ 指定（緊急）避難場所へ避難。（沿岸部においては、津波避難行動を取る）。
- ④ 安否確認場所へ移動する。
- ⑤ 提出後、各自主防災会の訓練に参加する。

《自主防災会》（前述に加えて、以下の訓練を実施する）

- ⑥ 安否確認場所にて、自主防災会役員は安否確認者数を確認、集計し、自主防災会本部へ報告する。（安否確認訓練）
 - ⑦ 自主防災会本部は、安否確認者数全体を集計し、自主防協力班員とともに、焼津市災害対策本部へ報告する。（情報伝達訓練）
 - ⑧ 1年間の振り返りとして、地域の課題に取り組み確認する訓練を実施する。
（1年間のチェック・振り返りとなる訓練）
- ※複数の自主防災会が共同で避難所を開設する地区は、自主防災会同士で相談・協力して訓練を実施してください。
- ※令和7年度の新防災役員が決まっている場合は、引き継ぎも兼ねて訓練に参加していただくことを推奨します。

6 訓練の中止決定及び連絡

- （1）異常気象等に対しては、市民の安全確保を最優先として適切な状況判断により対応するが、以下の状況が発生した場合は、原則として中止する。
 - ア 南海トラフ地震臨時情報（調査中・巨大地震警戒・巨大地震注意）が発表された場合
 - イ 市内に震度4以上の地震が発生した場合及び県内に震度5弱以上の地震が発生した場合
 - ウ 東南海、南海地域に被害をもたらす大規模な地震が発生した場合
 - エ 津波注意報及び気象警報（大雨、洪水、暴風、高潮）が発表された場合
 - オ 雷注意報の発表かつ雷鳴など落雷兆候がみられた場合
 - カ 市民の健康及び財産の被害が予想されると判断される場合
 - キ その他社会的に中止が必要と判断される場合
- （2）中止決定日時刻

原則、令和7年3月2日（日）午前7時00分までに決定する。

なお、上記（1）ア～キの状況が突発的に生じた場合は、その都度決定する。
- （3）中止連絡方法

同報無線「広報やいづ」を活用した方法を基本とする。併せて、同報無線内容を「やいづ防災メール」「焼津市公式LINE」で配信する。

また、各自主防災会代表者に対して自治会ホットラインを通じてメールを配信しますので、連絡網など地域内で周知および、伝達できる体制作りをお願いします。
- （4）その他

上記にある訓練の中止決定のア～カ以外でも、各自主防災会において独自で訓練を中止する判断基準を設けていただいても構いません。

（例）

 - ・大雨警報が発表されていなくても、雨が降っていれば中止とする。など

※自主防災会独自の判断で中止する場合は、地域防災課（623-2554）まで、ご一報ください。

問合先：焼津市 防災部 地域防災課 防災対策担当
 TEL：623-2554 FAX：625-0132
 mail：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和6年度 焼津市災害時初動訓練 スケジュール

時 間	住 民	自主防災会	同報無線放送（市内全域）
8:00			事前放送 『こちらは広報やいづです。』 『地域防災課からのお知らせです』 『本日、午前9時00分に、訓練放送を行います。』 『訓練放送に合わせて、安全確保行動を実施しましょ う。』 『皆様のご理解とご協力をお願いします。』
地震発生 9:00	地震発生（訓練開始） ～身の安全の確保～ - 安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を取る（シェイクアウト訓練） - テーブルの下に隠れる		地震発生 『こちらは、広報やいづです。』 『訓練、訓練、これは訓練放送です。』 『サイレン（揺れ時間1分間）』 『ただいま、大規模な地震が発生しました。』 『落ち着いて安全確保行動をしてください。』
地震発生直後	揺れが収まる（避難開始） ※ 非常持出品を必ず持参する ～被害の拡大防止～ - 窓や戸を開けて出口を確保 - 避難の前に、電気のブレーカーやガスの元栓を確認 - 屋内の転倒・落下物、ガラス片に注意し、落ち着いて避難		
9:05	大津波警報発表（避難中） ～確実な避難への備え～ - 避難経路の再確認 ※ブロック塀等の危険箇所を確認しながら避難する - 津波避難場所の再確認（名称など）		気象庁による大津波警報発表 『こちらは、広報やいづです。』 『訓練、訓練、これは訓練放送です。』 『サイレン（3秒 2秒休止×3回）』 『訓練、訓練、大津波警報が発表されました。』 全急、避難してください。』
	指定（緊急）避難場所（津波避難場所） 津波避難場所の状況等を確認		×2回
9:20	大津波警報解除（安否確認場所へ移動） 津波避難場所から、地域で定めた安否確認場所へ、すみやかに移動 安否確認場所 「わが家の安否確認カード」を提出 「わが家の安否確認カード」の集計 集計結果を、自主防災会本部・自主防災会本部に派遣された市職員（自主防協方班員）へ報告 各自主防災会の地域の課題に取り組む訓練	自主防災会本部 安否確認場所 ↓ 立上げ準備	大津波警報等解除 ※訓練では24時間経過後を想定しています。 『こちらは、広報やいづです。』 『訓練、訓練、これは訓練放送です。』 『こちらは訓練災害対策本部です。』 『訓練、訓練、今まで発表されていた大津波警報は、解除されました。』 『地域の自主防災会の指示に従って、落ち着いて行動してください』
			×2回
11:30	訓 練 終 了		訓練終了放送 『こちらは、広報やいづです。』 『地域防災課からのお知らせです』 『訓練へのご参加、ありがとうございました。』 『以上をもちまして訓練放送を終了します。』 『ご協力ありがとうございました。』

令和 6 年度 焼津市災害時初動訓練 同報無線放送スケジュール(案)

資料 3

令和7年3月2日(日)

8:00 事前広報放送

『こちらは、広報やいづです。』
『地域防災課からのお知らせです。』
『本日、午前9時に、訓練放送を行います。』
『訓練放送に合わせて安全確保行動を実施しましょう。』
『皆様のご理解とご協力をお願いします。』

9:00 大規模地震発生

『こちらは広報やいづです。』
『訓練、訓練、これは訓練放送です。』
『サイレン(揺れ時間1分間)』
『ただ今、大規模な地震が発生しました。』
『落ち着いて安全確保行動をしてください。』

★シェイクアウト(3つの安全確保行動)
「まず低く、頭を守り、動かない」を身に
付けるための行動をする。

9:05 気象庁による大津波警報発表

『こちらは、広報やいづです。』
『訓練、訓練これは訓練放送です。』
『サイレン(3 秒 2 秒休止×3回)』
『訓練、訓練、大津波警報が発表されました。』
至急、避難してください。』

★地域で決めた
「(緊急)一時避難場所」へ避難する行動

×2回

9:20 大津波警報解除

『こちらは、広報やいづです。』
『訓練、訓練、これは訓練放送です。』
『こちらは訓練災害対策本部です。』
『訓練、訓練、今まで発表されていた大津波警報は、解除されました。』
『地域の自主防災会の指示に従って落ち着いて行動してください。』

★地域で決めた
「安否確認場所」へ避難する行動

×2回

11:30 訓練終了放送

『こちらは広報やいづです。』
『地域防災課からのお知らせです。』
『訓練へのご参加、ありがとうございました。』
『以上をもちまして訓練放送を終了します。』
『ご協力ありがとうございました。』

3月1日(土)の間に訓練中止が決定した場合

『こちらは広報やいづです。』

『地域防災課からのお知らせです。』

『3月2日、日曜日に予定しておりました「焼津市地域防災訓練」は
〇〇〇〇により中止します。「焼津市地域防災訓練は、中止します。』

『日頃から、地震・津波に備え、各ご家庭で事前に避難所・避難場所の確認、
非常持出品、備蓄品の準備をお願いします。』

緊急の訓練中止が決定した場合

『こちらは広報やいづです。』

『地域防災課からのお知らせです。』

『地域防災訓練は、〇〇〇〇により中止します。』 ×2 回

災害時情報記録用紙（参加者）

情報ルート 第 自主防災会 自主防協力班

日 時 月 日 時 分

種 別 要請 ☐ 報告 ☐ その他

内 容 火災 救助 被災状況 物資 ☐ その他

詳細を簡潔に記入してください

安否確認

1 避難者

大 人 : _____人

高 校 生 : _____人

中 学 生 : _____人

小 学 生 : _____人

未就学児 : _____人

合計 _____人

2 安否不明の家族

_____人

※各自主防会で必要に応じて記載してください。

市民→組長→町内会→自治会

【任意様式】

「わが家の安否確認カード」集計用紙（組長用） 訓練当日 1 ・ 資料3-2

第 町内会 組

シート No.

[illegible]

市民→組長→町内会→自治会

【任意様式】

「わが家の安否確認カード」集計用紙（町内会用） 訓練当日 2 ・ 資料3-2

_____自治会_____町内会

シート No.

[illegible]

市民→組長→町内会→

【任意様式】

「わが家の安否確認カード」集計用紙（自治会・基地用）

訓練当日 3・資料3-2

[illegible]

提出期日 2月3日(月)まで (必着)
FAX:625-0132 メール:
tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和6年度 焼津市災害時初動訓練 実施計画書

名 称		第	自主防災会
訓練担当者:氏名		TEL	—
訓練日時	令和7年3月2日(日)午前		
自主防本部開設場所 ※大井川地区は 自主防総括本部開設場所	場所() ※市災害対策本部との情報伝達収集訓練のため、自主防協力班員(市職員)を派遣する場所です。		
指定(緊急)避難場所・ 一時避難場所	避難を予定している避難場所は、すべて記入してください。 その際、避難場所の管理者等へは事前承諾をお願いします。		
安否確認場所 (訓練実施場所)	複数ある場合は、すべて記入する。		
住民参加人数(想定)	人		
訓練内容	訓練詳細		
(任意記入)訓練のアピールポイントや最重点項目に対する取り組みなどご記入ください。			
メディア等の撮影可否		※いずれかに○をお願いします。 可 ・ 否	

2月3日(月)までにファックス又は提出してください(必着)

FAX:054-625-0132

令和6年度 焼津市災害時初動訓練

防災資機材借用要望書

第 自主防災会 担当者 氏名

日中に連絡が取れる連絡先(携帯電話等)

電話

裏面の『貸出用防災資機材一覧』に記載されていない資機材の記入はご相談ください。

●防災資機材借用要望欄

番号	資機材名	要望数

注意事項

・資機材貸出期間:2月 25 日(火)~2月 28日(金)8:30~17:15

・資機材返却期間:3月 2 日(日)~3月7日(金)8:30~17:15

※返却の際は、必ず受付又は近くの職員に声をかけてから返却してください。

・各自主防災会からの依頼状況によってはご要望に応じられない場合もあります。
その場合は、2月7日(金)までに当課より担当者様へご連絡させていただきます。

貸出用防災資機材一覧

【焼津市所有資機材】

番号	資機材	数量	備考
1	倒壊家屋訓練用セット (訓練用屋根・模擬タンス・ダミー人形一式)	1セット	中型(2t)程度のトラックが必要です。
2	ダミー人形	3体	
3	煙体験ハウス	1セット	軽バン又は軽トラック程度の車両が必要です。
4	訓練用水消火器	180本	
5	消火バケツ	30個	
6	三角巾	100枚	
7	毛布	100枚	
8	担架	10台	
9	組立水槽	5基	
10	炊き出し釜セット(まかない君)	2セット	貸出時に取り扱い説明をします。

【避難所開設訓練用資機材】(避難所開設訓練を実施する場合)

番号	資機材	数量	備考
11	ダンボール製間仕切りセット	5区画	
12	段ボールベッド	5セット	
13	段ボールハウス	1セット	2箱/セット
14	簡易テント	10張	
15	災害用ワンタッチトイレ	10セット	ワンタッチテント含む

※ 数に限りがありますので、希望が多い場合は数量の調整、又は過去の貸し出し履歴などを考慮し決定させていただきます。

※ AED 及び訓練用人形の借用要望がある場合は、消防団派遣依頼書にその旨ご記入いただき、各分団長へご提出ください。(消防団員が AED の訓練を実施します)

担当:防災部 地域防災課 防災対策担当 島田
TEL 054-623-2554
FAX 054-625-0132

提出期日3月10日（月）まで

FAX : 054-625-0132

メール: tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和6年度 焼津市災害時初動訓練

結果報告書

[illegible]

提出期日 令和 7 年 1 月 16 日（木）（必着）

FAX : 625-0132 メール : tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

インターネット : <https://logoform.jp/form/tWbQ/847487>



令和 6 年度 焼津市災害時初動訓練 チラシ要望書

_____ 第 _____ 自主防災会			
担当氏名 :		電話 :	
配布チラシの種類			要望数
A: 【訓練用】「わが家の安否確認カード」			枚
B: 訓練参加証明書（児童・生徒用）			人分
C: 同報無線が聞こえないときどうするの？ ～多様な情報収集～			枚
D: 災害時は安否確認が重要です！！ ～大切な人との再会のために～			枚
E: もしもの備えが命を守る：備蓄・トイレ			枚
その他 :			枚
外国語版「わが家の安否確認カード」記入説明チラシ			
G: ポルトガル語	H: タガログ語	I: 英語	J: ベトナム語
枚	枚	枚	枚
※ 「わが家の安否確認カード」保存版が必要な場合は、地域防災課まで ご相談をお願いします。			
受け渡し場所：消防防災センター 1F 受付（焼津市石津 1 - 6 - 1）			
受け渡し期間：1 月 31 日（金）～ 2 月 7 日（金） 9:00 ～ 17:00（土日祝除く）			

【訓練用】『わが家の安否確認カード』チラシ A

●「わが家の安否確認カード」とは？

大規模地震発生時は、まず、身の安全を確保します。そして強い揺れが収まりましたら、あらかじめ決めた避難場所へ避難します。その後、大津波警報が解除されるなど、安全が確認された時点で、各地域（自治会・町内会）で決められた安否確認場所へ行きます。

その際、安否確認場所で混雑と密を回避し、迅速な安否確認を行うため、「わが家の安否確認カード」を使用してください。

● どこに保管しますか？

「非常用持出し袋」に入れておくなど、避難の際に持ち出せるようにして、災害時に使用してください。

● 何を書くか？

家族の安否情報を確認して、「わが家の安否確認カード」へ記入をしてください。

● どこへ出すのか？

各地域の「安否確認場所」にて「自治会・町内会役員」へ提出してください。

● このカードの利用方法は？

災害時に、まずは、この情報を「安否不明者」の搜索活動に役立たせていただきます。

わが家の安否確認カード (訓練用)	自治会 (区) 町内会 組				役員 使用欄
	氏 名 (※提出者)		連絡先 (※提出者)		※訓練時は記載不要です
	家族・世帯の総人数	人	安 否 確 認 で き た 人	大人	人
				高校生	人
				中学生	人
				小学生	人
	安否不明の家族 ※下段に詳細を記入してください。	人		未就学児	人
	自宅の状態／ ☐ 居住可能 ☐ 半壊 ☐ 全壊				
	安否不明の家族について			※安否不明者がいる場合に記載をしてください。	
	名	前	性別	年齢	その他伝えたい情報
※訓練時は記載不要です			歳		
			歳		
			歳		
			歳		
			歳		

裏面に記入例があります。

「わが家の安否確認カード」は、災害時の迅速な安否確認に活用します。

例) ★防災一家（４人家族）の場合

情報① 自宅に居て安否確認がとれている【安否確認ができた家族：３人】

●大人（防災太郎）▲中学生（防災はじめ）△小学生（防災次郎）

※「安否確認できた人」に人数を記入する。

情報② スーパーに買い物へ行ったまま安否確認が取れない【安否不明家族：１人】

○大人（防災花子 女性 ４５歳）

※「安否不明の家族」の欄に数字を記入し、下の「安否不明の家族について」の欄に搜索等に必要な情報を記入する。

【その他補足】

・家族が仕事や学校・習い事などで自宅に居ない場合でも、提出者が安否の確認ができていれば、「安否確認できた人」の欄に、安否確認ができない場合は「安否不明の家族」欄に記入する。

記入例

※事前に自分の住んでいる自治会（区）・町内会・組や家族・世帯の総人数などは記入しておきましょう！

わが家の安否確認カード (訓練用)	焼津第○自治会(△区)第□町内会×組				役員 使用欄
	氏名 (※提出者) 防災太郎		連絡先 (※提出者)		※訓練時は記載不要です
	家族・世帯の総人数	4人	安否 確認 でき た 人	大人	1人
	安否不明の家族 ※裏面に詳細を記入してください。	人		高校生	1人
				中学生	1人
				小学生	1人
				未就学児	人
	自宅の状態／ ☐ 居住可能 ☐ 半壊 ☐ 全壊				
	安否不明の家族について			※安否不明者がいる場合に記載をしてください。	
	名前	性別	年齢	その他伝えたい情報	
※訓練時は記載不要です			歳		
			歳		
			歳		
			歳		
			歳		

◇「わが家の安否確認カード」を使い切った、もしくは紛失したときは、自治会・町内会役員か地域防災課までお問い合わせください。【問合せ先：焼津市地域防災課 ☎054-623-2554】

◎詳しくは、焼津市ホームページ（HP）をご確認ください。

<https://www.city.yaizu.lg.jp/safety/bosai/bosai-info/earthquake/sonae/wagayano-annpi.html> ▶





令和6年度 焼津市災害時初動訓練参加証明書

令和7年3月2日（日）に実施した災害時初動訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

感じたこと： _____

令和7年3月2日

第 自主防災会



令和6年度 焼津市災害時初動訓練参加証明書

令和7年3月2日（日）に実施した災害時初動訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

感じたこと： _____

令和7年3月2日

第 自主防災会



令和6年度 焼津市災害時初動訓練参加証明書

令和7年3月2日（日）に実施した災害時初動訓練に参加したことを証明します。

学校名 _____ 学年 _____ 氏 名 _____

参加した訓練や印象に残った訓練： _____

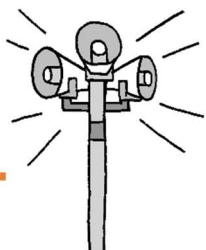
感じたこと： _____

令和7年3月2日

第 自主防災会

同報無線が聞こえないとき どうする？

チラシC



～多様な情報収集～

緊急時、屋外にいる人に情報を伝えるための手段として活躍する同報無線。焼津市では200カ所設置されていますが、屋内にいる場合や、場所・風向きによっては聞こえにくいこともあります。

災害時にすばやく情報を入手し、安全を確保できるように、日頃から、多様な情報収集方法を把握しましょう。

◆同報無線 音声応答サービス



【054-656-2727】に電話すると、過去2回分の同報無線放送を聞くことができます。通話料は自己負担です。

放送が聞こえなかった、放送をもう一度聞きたいというときに便利です。

◆やいづ防災メール



同報無線の放送内容、地震・津波情報、気象情報、火災情報などをメールで受け取ることができます。

右上のコードを読み取り、空メールを送って登録してください。



▲やいづ防災メール
空メール宛先

◆焼津市公式 LINE



焼津市の様々な情報に加え、防災情報、同報無線の放送内容などやいづ防災メールと同じ内容を受け取ることができます。

右上のコードを読み取り、焼津市と友だち登録をしてください。



▲焼津市公式 LINE

◆テレビのdボタン

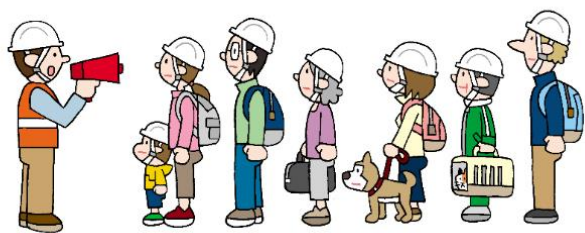


サイレンを伴う緊急放送の場合は、テレビのデータ放送で、災害情報ははじめとした地域の情報を確認できます。



災害時は**安否確認**が

チラシ D



重要です!!

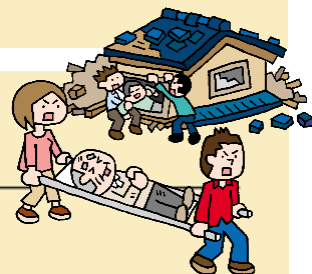
～大切な人との再会のために～

◆安否確認とは？

災害時に「生存状況」や「居場所」を確認することです。安否が分からない人がいた場合、探したり、身元が分からない人と照会したりするための重要な手がかりとなります。

◆安否確認の対象となる人は？

地域に住んでいる人および、その時たまたま地域にいた人です。全員の安否が確認できることが、災害復興のために重要となります。



◆安否確認から避難所の開設まで

安否確認は、災害が起こった直後に、全員を対象に行います。

★焼津市作成の「**わが家の安否確認カード**」は安否確認のためのツールです。

「わが家の安否確認カード」の情報は、災害後の救助活動や消火活動、安否確認などの初動対応の際に活用されます。生活する場所を失った方々が発生した場合は、避難所を開設し、避難者の受付を行います。避難所受付においては、改めて避難者の受入手続きが行われます。

自治会（ ）区（ ）町内会（ ）組（ ）				※役員使用欄(受付等に使用)	
氏名 (※提出者)				受付No.	
連絡先 (※提出者)				提出日時 年 月 日 時 分	
家族・世帯の総人数	人	安否確認できた人	大人	人	
安否不明家族の人数 ※下段に詳細を記入してください。	人		高校生	人	
			中学生	人	
			小学生	人	
			未就学児	人	
自宅の状態 / ☐ 居住可能 ☐ 半壊 ☐ 全壊					
安否不明の家族について ※安否不明者がいる場合に記載をしてください。					
名 前	性別	年齢	その他伝えたい情報		
		歳			
		歳			
		歳			
		歳			
		歳			

もしもの備えが命を守る!



いつ起こるかわからない災害に対し、備蓄はできていますか？
 発災後は、必要な物資が届くまで時間がかかる場合があります。
 自分や家族の命を守るために、我が家の備蓄を考えておきましょう。



高齢者世帯

- ☐ 介護食などのやわらかい食品
- ☐ 常備薬
- ☐ お薬手帳
- ☐ 杖
- ☐ 老眼鏡
- ☐ 防犯ブザーや笛 など



非常持出品 3日分

災害後、最初に持ち出すもの。
 約3日分を避難バッグに入れておきましょう。

- ☐ 非常食 調理不要のもの 3日×人数
- ☐ 飲料水 1日2～3ℓ×3日×人数
- ☐ 感染症対策品 マスク、消毒液、体温計など
- ☐ 携帯トイレ 1日約5回×3日×人数
- ☐ 貴重品 現金、通帳、保険証の写しなど
- ☐ 携帯電話・携帯ラジオ 充電器、バッテリー、乾電池含む
- ☐ 日用品 トイレトーパー、ライター、タオル、生理用品など
- ☐ 安全用品 懐中電灯、ヘルメット、軍手など



子育て世帯

- ☐ 液体ミルク
- ☐ 使い捨て哺乳瓶
- ☐ 離乳食
- ☐ オムツ
- ☐ おしりふき
- ☐ 幼児向けおやつ
- ☐ 母子手帳・お薬手帳 など

マザーズバッグは、非常時に持出用として利用できます



あなたの家庭に合った非常持出品を考えよう

災害直後に必要なもの

- ☐ -----
- ☐ -----
- ☐ -----
- ☐ -----

あなたの家庭に合った備蓄品を考えよう

災害後1週間で必要なもの

- ☐ -----
- ☐ -----
- ☐ -----
- ☐ -----

全世帯の必需品

- ☐ 食料 レトルト食品、缶詰など調理して食べるもの 4日×人数
- ☐ 飲料水 1日2～3ℓ×4日×人数
- ☐ 簡易トイレ、携帯トイレ 1日約5回×4日×人数
- ☐ 調理器具、簡易食器 カセットコンロ、カセットボンベ、割箸、紙皿、ラップなど
- ☐ 日用品 ウェットティッシュ、ゴミ袋など
- ☐ 着替え、下着
- ☐ ランプ、ランタン



高齢者世帯

- ☐ 大人用 紙パンツ
- ☐ 予備のめがね
- ☐ 予備の入れ歯
- ☐ 入れ歯ケース
- ☐ 入れ歯洗浄液
- ☐ ヘルプマーク

など



子育て世帯

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 飲料水 (粉ミルク用)
- ☐ 離乳食
- ☐ 抱っこひも
- ☐ ブランケット
- ☐ 生理用品・母乳パッド
- ☐ おもちゃ



備蓄品 7日分

避難所や自宅で約一週間生活するためのもの。
 家屋が被災しても取り出せる場所に保管しましょう。

★ 上記は一例です。ご家庭の実情に合わせて備蓄しましょう。

ローリングストックで食品・日用品も無理なく備える

- ① 少し多めに備蓄
- ② 使う
- ③ 買い足す



このサイクルで、期限が短い食品や日用品の備蓄ができます。

携帯トイレは絶対備蓄!

発災後は、高い確率でトイレが使えなくなります。災害に備えて、携帯トイレや簡易トイレを備蓄しましょう。



▲携帯トイレ
 吸水シートや凝固剤で水分を安定させる袋タイプのもの。



▲簡易トイレ
 持ち運び可能な、便座付きの小型トイレ。凝固剤もセットで備蓄が必要。

災害時のトイレ問題は深刻です!!



発災直後、家庭のトイレは高い確率で使えなくなります。避難所には仮設トイレが設置されますが、状況によっては混み合い、長時間待つ場合があります。

トイレに行くことを我慢するストレスと不安感が重なると、体調を崩すことも考えられます。災害時に備え、自分と家族の健康を維持するために、「携帯トイレ」「簡易トイレ」を備蓄しておきましょう。



簡易トイレ・携帯トイレも備蓄品に加えましょう

簡易トイレと携帯トイレ

コレがあれば災害時も安心じゃ!



●簡易トイレ

便器が使えないときのための、便座付きの小型トイレ。携帯トイレもあわせて備蓄が必要。



●携帯トイレ

洋式便器や簡易トイレ等にセットして使う、袋タイプのもの。簡単に使えて、ゴミとして処理できる。

携帯トイレの使い方

- ① 便器にポリ袋をかぶせ、その上から携帯トイレ（便袋）をセット。



使用後は、携帯トイレだけ交換します。袋は便座に挟みましょう。

- ② 《吸水シートタイプ》
便袋に吸水シートを入れてから用を足す。

《凝固剤タイプ》

用を足す前か後に、凝固剤を振りかける。

使用済みのトイレトーパーペーパーも一緒にに入れて捨てましょう。



- ③ 袋から空気を抜き、口を強く縛る。



- ④ 一般ゴミと分けて保管し、まとめてゴミ処理をする。

携帯トイレの備蓄数の目安

あなたの家族に合わせて計算してみましょう

1日約 **5** 回 × **7** 日 × 家族 人 = 回分

●携帯トイレと一緒に備蓄したいもの

- トイレトーパーペーパー … 常に1袋多めにストックしておきましょう。
- ウェットティッシュ・消毒液 … 手を洗う代わりに、手拭きや消毒に使い、清潔にしましょう。

提出期日 3月21日（金）まで

FAX : 625-0132 メール : tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和7年度役員連絡先報告票

例年、年度当初は役員交代により、連絡が取れない等の事案が発生しております。

円滑な連絡体制の確保にご協力お願い致します。

また、変更あるなし関わらず必ず報告をお願いします。

第 _____ 自主防災会		
自主防災会長	変更あり ・ 変更なし ※以下「変更あり」の場合のみ記入してください。	
ふりがな		
氏名		
住所 (アパート名等も記載)	〒 _____ 焼津市	
連絡先	電話	家庭電話 : 携帯電話 :
	メール	
防災委員長	変更あり ・ 変更なし ※以下「変更あり」の場合のみ記入してください。	
ふりがな		
氏名		
住所 (アパート名等も記載)	〒 _____ 焼津市	
連絡先	電話	家庭電話 : 携帯電話 :
	メール	

※個人の情報については、取り扱いに十分注意し、防災関係の業務以外には使用しません。

◇ 提出方法 メール・ファックス・郵送・持ち込み

◇ 問合せ先 防災部 地域防災課 防災対策担当
住 所 〒425-0041 焼津市石津 1-6-1
電 話 054-623-2554

FAX : 625-0132 メール : tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

令和7年度役員連絡先報告票

例年、年度当初は役員交代により、連絡が取れない等の事案が発生しております。
円滑な連絡体制の確保にご協力お願い致します。
また、変更あるなし関わらず必ず報告をお願いします。

第 _____ 自主防災会		
自主防災会総括本部長	変更あり ・ 変更なし ※以下「変更あり」の場合のみ記入してください。	
ふりがな		
氏名		
住所 (アパート名等も記載)	〒 _____ 焼津市	
連絡先	電話	家庭電話 : 携帯電話 :
	メール	
自主防災会長	変更あり ・ 変更なし ※以下「変更あり」の場合のみ記入してください。	
ふりがな		
氏名		
住所 (アパート名等も記載)	〒 _____ 焼津市	
連絡先	電話	家庭電話 : 携帯電話 :
	メール	
防災委員長	変更あり ・ 変更なし ※以下「変更あり」の場合のみ記入してください。	
ふりがな		
氏名		
住所 (アパート名等も記載)	〒 _____ 焼津市	
連絡先	電話	家庭電話 : 携帯電話 :
	メール	

※個人の情報については、取り扱いに十分注意し、防災関係の業務以外には使用しません。

◇ 提出方法 メール・ファックス・郵送・持ち込み

◇ 問合せ先 防災部 地域防災課 防災対策担当

住 所 〒425-0041 焼津市石津 1-6-1 電 話 054-623-2554

自主防災会活動について(概要)

役員交代の際は、新旧役員で必ず引継ぎを行ってください。

1年間の流れ(概略)	
時期	名称
4月中旬	自主防災会長会議
5月初旬	自主防災組織補助金説明会
5月下旬	第1回防災委員長会議
〃	自主防災会役員名簿提出〆切
6月初旬	補助金申請〆切
6月中旬	第1回自主防救助隊訓練
〃	総合水防訓練
7月下旬	市民防災リーダー育成講座
8月下旬	総合防災訓練(夜間)
〃	総合防災訓練(モデル地区)
9月下旬	シェイクアウト訓練
10月初旬	第2回防災委員長会議
11月初旬	第2回自主防救助隊訓練
12月初旬	地域防災訓練
1月上旬	第3回防災委員長会議
1月～3月	補助金実績報告提出
3月初旬	水難救助訓練
〃	災害時初動訓練
3月下旬	次期役員への引継ぎ

※感染症等の影響により上記の内容は変更する場合があります。

平常時のお願い

- 地域の情報の把握(世帯状況など)
- 地域の顔の見える関係づくり
- 各世帯の防災啓発(出前講座など)
- 補助金等各種手続き
- 自主防災会内の取りまとめ

訓練時のお願い

- 訓練の企画・実施
- 訓練内容の周知(回覧板など)
- 訓練参加の呼びかけ
- 地域の安否確認・報告
- 「わが家の避難者カード」の集計など

大規模災害時のお願い

- 地域内での共助
- 地域の復旧・復興
- 地域の安否確認・報告
- 「わが家の避難者カード」の集計など
- 市との連携

防災訓練の実施にあたって

◎各種訓練の2ヶ月程度前には、訓練についての説明を行う防災委員長会議を行います。必ずご参加ください。

○防災委員長会議出席後、地域の実情に合った訓練の検討をお願いします。

※民間企業や学校に避難する場合は、個別に調整をお願いします。

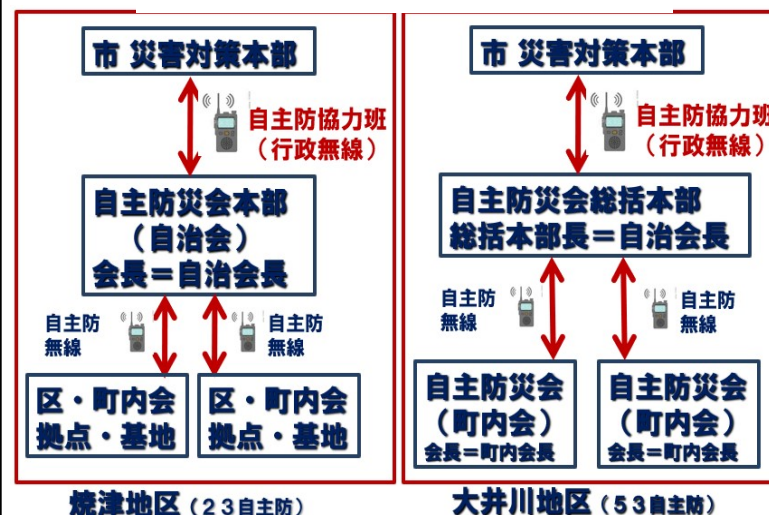
○訓練内容のご相談や資機材の貸出など、地域防災課までご連絡ください。

○訓練内容確定後は、訓練実施計画書を地域防災課までご提出ください。

○訓練内容は、必ず自主防災会長への報告・町内会長会議もしくは組長会議での報告をお願いします。

○訓練実施後は、訓練結果報告書を地域防災課までご提出ください。

【焼津市と自主防災会との連携体制】



困ったときは・・・

前期役員: _____様 電話: ()

焼津市地域防災課

電話: 054-623-2554 FAX: 054-625-0132

Mail: tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

事 務 連 絡

令和 7 年 1 月 9 日

各自主防災会補助金取扱い御担当者 様

焼津市長 中野 弘道
(防災部 地域防災課)

令和 6 年度 自主防災組織育成強化事業補助金について（お願い）

「令和 6 年度 自主防災組織育成強化事業補助金」につきまして、年度末までに実績報告書の御提出をお願いしております。御多忙のところ誠に恐縮ですが、期限を御確認いただき、お早めに着手していただきますよう、お願い申し上げます。

記

1 組織運営事業補助金

実績報告書提出期限 : 令和 7 年 3 月 5 日(水)

対象自主防災会 : 全自主防災会

2 資機材整備事業補助金

実績報告書提出期限 : 令和 7 年 3 月 5 日(水)

対象自主防災会 : 交付決定を受けた自主防災会

3 防火井戸等修繕設置事業補助金

交付申請書提出期限 : 受付終了

実績報告書提出期限 : 令和 7 年 3 月 5 日(水)

対象自主防災会 : 交付決定を受けた自主防災会

4 新規チャレンジ事業補助金

交付申請書提出期限 : 受付終了

実績報告書提出期限 : 令和 7 年 3 月 5 日(水)

対象自主防災会 : 交付決定を受けた自主防災会

※この通知は、各自主防災会の補助金業務の御担当者様へお渡しください。

※提出書類は修正が必要なことがあるため、お早めに御提出ください。

担当：防災部 地域防災課 防災対策担当（鈴木）

電話：623-2554 FAX：625-0132

E-Mail：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

自主防災組織育成強化事業補助金 提出書類関係

		提出様式	添付書類	提出期限	対象
組織運営事業	申請書	交付申請書(第1号様式) 事業計画書 収支予算書	なし	令和6年6月14日	終了
	報告書	実績報告書(第5号様式) 事業実績書 収支決算書 請求書(第9号様式)	領収書又は写し	令和7年3月5日	全自主防災会
資機材整備事業	申請書	交付申請書(第2号様式) 事業計画書 収支予算書	見積書又は写し	令和6年6月14日	終了
	報告書	実績報告書(第6号様式) 事業実績書 収支決算書 請求書(第9号様式)	領収書又は写し 整備完了後の写真	事業完了後20日以内 (最終日:令和7年3月5日)	交付決定を受けた 自主防災会
防火井戸修繕設置事業	申請書	交付申請書(第3号様式) 事業計画書 収支予算書	見積書又は写し	令和7年1月31日	終了
	報告書	実績報告書(第7号様式) 事業実績書 収支決算書 請求書(第9号様式)	領収書又は写し 施工状況等の位置図 完成写真	事業完了後20日以内 (最終日:令和7年3月5日)	交付決定を受けた 自主防災会
新規チャレンジ事業	申請書	交付申請書(第4号様式) 事業計画書 収支予算書	見積書又は写し	令和7年1月31日	終了
	報告書	実績報告書(第8号様式) 事業実績書 収支決算書 請求書(第9号様式)	領収書又は写し 写真又は制作物	事業完了後20日以内 (最終日:令和7年3月5日)	交付決定を受けた 自主防災会

※3月中の入金を希望する場合は令和7年2月19日(水)までにご提出ください。

原子力防災訓練視察参加者 様

焼津市防災部次長兼地域防災課長 八木 隆之

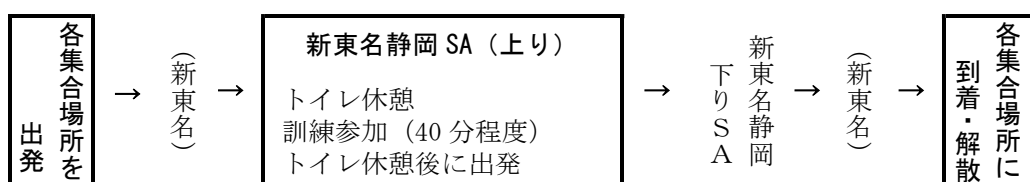
令和 6 年度静岡県原子力防災訓練の視察参加について（ご案内）

平素より当市の防災行政の推進につきましては、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度は、「令和 6 年度静岡県原子力防災訓練」の視察に参加申し込みいただき、ありがとうございます。視察当日のご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 7 年 2 月 2 日（日曜日）
- 2 訓練会場 新東名高速道路・静岡サービスエリア（上り）内の特設会場
- 3 視察内容 原子力災害を想定した「避難退域時検査」の運営訓練
 - ▶ 車両や避難者の放射能汚染検査や簡易除染作業を見学します。
 - ▶ 参加者の皆様には、避難者役として訓練に参加していただきます。
- 4 行 程
 - ① 大井川地区と 和田 21、22 自治会の皆さん
＜集合場所＞ 焼津市役所大井川庁舎 集合 8:25 出発 8:30 帰着 11:10（見込み）
 - ② 焼津地区（和田 21、22 を除く）の皆さん
＜集合場所＞ 焼津市役所本庁舎 集合 8:40 出発 8:45 帰着 11:00（見込み）



- 5 その他
 - ▶ 雨天でも実施の見込みですが、警報等の状況では中止の場合があります。その場合は事前に参加者の皆様にご連絡します。
 - ▶ 各集合場所の自家用車駐車場と、バス乗車場所は裏面をご確認ください。
 - ▶ 服装の定めはありませんが、動きやすい服装での参加をお願いいたします。
 - ▶ 基本的な感染防止対策にご協力をお願いいたします。

6 事業担当・連絡先

＜通常時連絡先＞ 焼津市地域防災課 地域防災担当 鈴木・杉本
電話 623-2554 FAX 625-0132 メール: tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

＜視察当日緊急連絡先 2 月 2 日（日） 8:00～12:00＞

- ①大井川庁舎バス担当 090-3250-0216（担当：杉本）
- ②焼津本庁舎バス担当 090-3250-0215（担当：鈴木）

◎当日の朝は、バスの各乗車場所に市職員が待機します。受付を完了してください。

2月2日・静岡県原子力防災訓練 駐車場、乗車場所 案内図

乗車場所① 市役所 大井川庁舎

8時25分(集合) 8時30分(出発)

自家用車は、**大井川庁舎駐車場** に、駐車してください。



乗車場所② 市役所 本庁舎

8時40分(集合) 8時45分(出発)

自家用車は、**本庁舎立体駐車場** に、駐車してください。



令和 7 年度静岡県総合防災訓練を 焼津市・藤枝市で実施（お知らせ）

静岡県総合防災訓練（実動訓練）の令和 7 年度会場が焼津市・藤枝市に決定しました。当日は、主に公助機関（県、市、自衛隊、警察、消防など）による訓練が、市内各所で行われます。ご理解とご協力をお願いいたします。

■ 令和 7 年度静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練

日程：令和 7 年 10 月 19 日（日）

※市内の訓練概要については、令和 7 年 4 月開催予定の自主防災会長会議でご案内させていただく予定です。

■ 令和 7 年度焼津市総合防災訓練

日程：令和 7 年 8 月 30 日（土）19 時～ 【予定】

※各自主防災会にご協力いただく、市の総合防災訓練につきましては、これまで同様に 9 月 1 日前後の土曜日の夜間訓練として実施します。

※地域防災訓練（12 月）、災害時初動訓練（3 月）については、これまで同様に実施予定です。

問合せ先

焼津市防災部 地域防災課 防災対策担当 山下・鈴木

Tel054-623-2554 FAX054-625-0132
